

千葉県スキー連盟活動方針

千葉県スキー連盟（以下：県連）は、本年設立56年目を迎えています。登録状況は会員1979人、クラブ（連盟）92、指導者867人、公認スキー教室24、級別テスト31であります。ここ数年全て微減を続けています。わが国のスキー人口（スノーボード含む）も年々減少し650～700万人と言われてはいますが、本連盟も例外ではなくその影響を受けているといえます。

ご承知のとおり（財）全日本スキー連盟（以下：SAJ）はもとより県連も設立当初から「スキーの普及・振興」（以下：普及振興）をその目的に掲げ、今日に至っています。それは、ウインタースポーツの代表的なスキーを後世に伝え、その楽しさを永遠に享受してほしいからであります。私たちが身につけているスキーの理論や技術能力は、天からの贈り物として余すことなく後世に伝承しておくことは我々スキーヤーの使命であると思います。

そこで、県連では総務・競技・教育各部で例年実施されてきたすべての事業について普及振興を念頭に置いて事業や予算の見直しを図ることとします。

また、理事等役員は積極的に県連やクラブの会議や事業に参加しスキーの普及振興に貢献することとします。

各クラブ（連盟）においても同じ旗印のもと、SAJや県連、クラブの事業に取り組み、スキーの活性化を図っていただきたいと願っています。なお、スキー人口拡大に繋がる各地域でのクラブ主催のスキー教室は、その普及振興において最も有効的な事業でありますので、今後とも継続して開催されることを強く念願しています。特に、子どもたち対象のスキー教室は未来に繋がる貴重なスキーヤーを育む上でも大切な事業であります。

個人的にも、家族や友人と連れ立ってスキーを楽しんでいる人やグループ等で国内外のスキーツアーをエンジョイしている人もたくさんいます。さらに、近年は各スキー場のスキー学校の指導者として何日間も中学生や高校生を指導している人もたくさんおり年々、その需要も増えています。

これらもすべて普及振興に大きく貢献していますので、さらに輪を広げていくことが望まれています。

このように県連では、広く県民や会員に普及振興という活動方針の旗幟を鮮明にして、SAJ、県連、クラブそして会員個人に至るまで連帯感を深めつつ、スキー人口の拡大、活性化を図り、その普及振興に努めていくことを改めて決意し、各クラブはじめ会員の皆様のご理解とご協力をお願いする次第であります。

なお、この活動方針は県連のホームページにも掲載しますが、貴クラブ会員に周知徹底を図ると共に、ご理解を深めていただくようお願いいたします。

千葉県スキー連盟
会 長 塚本富士男